

3

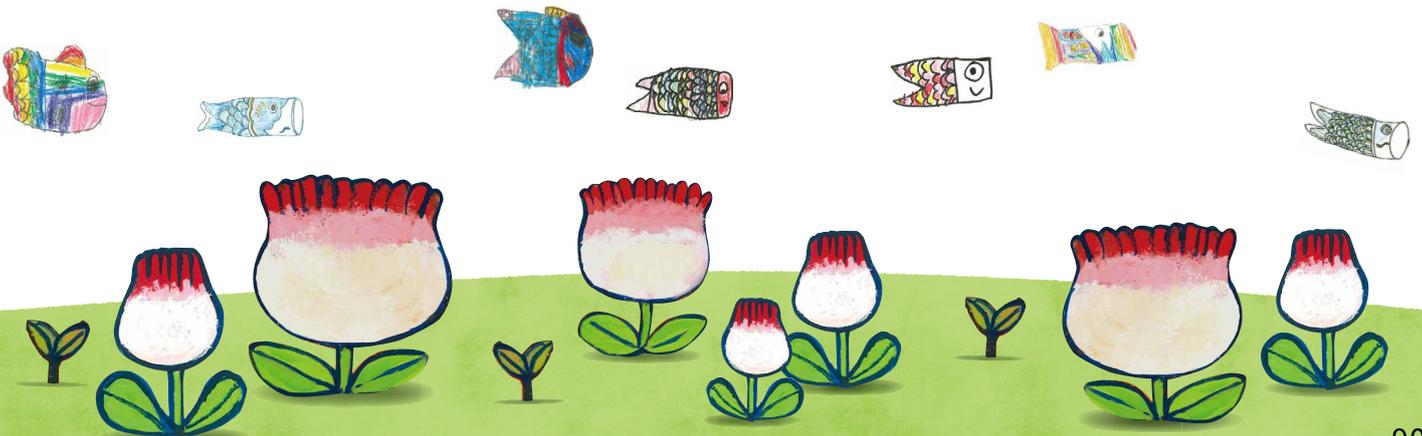
生活・環境

快適で暮らしやすいまち

自然と調和するまち

楽しさと憩いにあふれるまち

環境にやさしいまち





3 生活・環境



3-1 快適で魅力的な都市空間の創造

4年間で実現したい姿

大竹駅の整備や小方地区のまちづくり事業の進捗など、にぎわいや暮らしの拠点づくりが進み、「持続可能で魅力的なまちづくり」が進められています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
大竹駅の整備率 (事業費ベース)	23.4%	100%
小方まちづくり事業の整備完了面積	0%	10%

現状・課題

鉄道事業者などとの協働体制により、自由通路や駅舎の橋上化、東西駅広場整備などが着実に進められています。

小方地区のまちづくり事業は、国道2号から晴海臨海公園へのアクセス道や、臨港道路の整備に向けた準備が進む一方、各ゾーンの事業着手の目途が立っていません。

今後進む急激な人口減少などへの対応や、生活サービス機能集積のための情報整理などが求められており、居住や都市機能を誘導するための方針や誘導区域を定めていく必要があります。

取組の方針

- 自由通路及び橋上駅舎は令和4(2022)年度末、東西駅広場は令和5(2023)年度末完成をめざして整備を進めます。

主な事業 大竹駅周辺整備事業 都市計画課

- 各ゾーンの事業化の時期を伺いながら準備作業を進めます。
- アクセス道の整備に向けて、跡地利用を決定し、国道2号に関する公安委員会との交差点協議により交通導線を決定します。
- 「小方まちづくり基本構想」の核となる小方新駅の設置に向けて、地元や関係機関と協議を進めます。

主な事業 小方地区のまちづくり事業 企画財政課 土木課 都市計画課

- 市民、民間事業者、行政が一体となって、持続可能な良好で賑わいのある都市づくりに取り組むためアクションプランである「立地適正化計画」を策定します。

主な事業 都市計画の見直し (立地適正化計画策定事業) 都市計画課

総合戦略 国土強靱化地域計画





総合戦略 国土強靱化地域計画

取組の方針

- 早期の完成に向けて地元の協力を得るとともに、事業主体である国や県への要望活動を行います。

主な事業	国道及び高規格道路の総合整備事業	監理課
------	------------------	-----

- 5年に1度の定期点検と診断結果の分析により、メンテナンスサイクルを構築しながら、老朽化が進む橋りょう・トンネルを計画的に改修・保全します。

主な事業	道路・橋りょう維持事業 橋りょう長寿命化事業	土木課
------	---------------------------	-----

- 地域のニーズや道路の利用状況などを把握しながら、安全に課題がある箇所や狭あい道路の改善など、計画的・効果的な道路整備を行います。

主な事業	道路・橋りょう新設・改良事業	土木課
------	----------------	-----

現状・課題

山陽と西中国山地を結ぶ国道186号は、順次道路改良が進んでいますが、未改良個所の解消や災害防止対策が必要です。岩国大竹道路整備事業は、本線工事や関連工事に着手している一方で、広島県側の用地取得率が72%に留まっており、早急な用地取得が必要です。

橋りょう・トンネルの計画的な点検・診断は行っていますが、保全工事の進捗が遅れています。

道路面の凹凸による交通障害や道路排水施設の老朽化による排水不良など、安全に課題がある箇所が多くあります。また、狭あい道路では、道路に密接して住宅が建築されているなど、用地の確保や整備が困難な箇所が多くあります。

3-2 | きれいで利便性の高い道路環境の創造

4年間で実現したい姿

道路、橋りょう、トンネルなどの整備・更新・修繕などが計画的に行われ、安全で利便性の高い道路環境が保たれています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
健全性が保たれている橋りょうの割合	79%	80%





3-3 生活を支える公共交通の充実

4年間で実現したい姿

「住民自らが創り・守り・育てる」
便利で持続可能な地域の公共交通が整備され、市民の移動を支えています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
「目的地までの移動がしやすいまちだ」と答えた人の割合	58.4%	50%以上

現状・課題

公共交通の利用者数は一定数を維持していますが、今後人口減少などによる利用者の減少と、それに伴う公共交通の運行経費の増加や事業者の人手不足が懸念されます。

取組の方針

- 「地域公共交通計画」に基づき、住民と交通事業者と市が協議し、今後利用する可能性のある人のニーズなども踏まえて運行内容の見直し、改善を行います。

主な事業	地域公共交通整備事業	自治振興課
------	------------	-------

総合戦略 国土強靱化地域計画



3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

4年間で実現したい姿

港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値(R1)	目標値(R5)
大竹港で取り扱う貨物の量	145万トン	160万トン

現状・課題

大竹港は、コンテナ荷役の増加に伴うコンテナヤードの不足に加え、施設の老朽化が進んでいます。

玖波漁港・阿多田漁港ともに施設の経年劣化が進んでいます。

取組の方針

- 大竹港東栄地区コンテナヤードの拡張など、利用実態に合わせた施設と管理体制の整備について、関係機関と協議しながら取り組みます。
- 物流の円滑化を目的とする国道2号を結ぶアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。

主な事業	港湾施設管理事業	土木課
------	----------	-----

- 定期点検結果を踏まえた計画的な修繕、更新により、漁港施設を適切に維持管理します。

主な事業	漁港施設維持管理事業	土木課
------	------------	-----

総合戦略 国土強靱化地域計画





3-5 住みよさと安心を生む住宅政策

4年間で実現したい姿

住宅の耐震化や空き家の有効活用が進み、安全で良好な住環境が保たれています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
住宅耐震化率 ※5年ごとに総務省が実施する「住宅・土地統計調査」による推計値を引用します。現状値は令和2(2020)年度推計値とし、目標値は、次回調査が令和7(2025)年度のため、令和7(2025)年度推計値としています。	83.1% (令和2年度)	92.0% (令和7年度)
空き家バンク登録件数(累計)	0件	2件

現状・課題

居住者の高齢化などで退去ができないなどの理由により、老朽化した木造平屋住宅の解体が進んでいません。

築40年以上の住宅を対象とした耐震診断・改修補助制度の利用が少なく、リフォーム件数自体も減少傾向にあります。

人口減少などで、適正に管理されていない空き家や、所有者不明、相続放棄空き家が増えています。

取組の方針

- 居住者の早期移転を積極的に促し、市営木造平屋住宅の解体を進めます。
- 解体が完了した市営住宅跡地の利活用を検討します。

主な事業 ▶ 市営住宅整備事業 都市計画課

- 大竹市耐震改修促進計画に基づき、市内の住宅や多数の者が利用する建築物の耐震化を進めます。
- 耐震化の重要性を啓発し、耐震診断や耐震改修・住宅リフォーム補助制度の利用を促進します。

主な事業 ▶ 住宅改修等補助事業 都市計画課

- 警察と連携し、危険な空き家への対応や危険な空き家にならないための所有者への適切なアドバイスを行います。
- 定住促進の観点から、空き家の有効活用を検討します。

主な事業 ▶ 空家対策事業 都市計画課 企画財政課

総合戦略 国土強靱化地域計画



3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備



4年間で実現したい姿

市民が安心して公園を利用できています。晴海臨海公園は多様な用途に活用できる魅力的なスポットになっています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
晴海臨海公園の利用者数	209,424人	210,000人

現状・課題

人口減少や高齢化により、自治会主体による地域の公園の管理が困難になってきています。また、老朽化した公園設備などの計画的な修繕が必要となっています。

晴海臨海公園は、大型遊具やデイキャンプ場が整備され、市内だけでなく市外からも多くの人を訪れています。

取組の方針

- 市民の意見や時代のニーズを反映しつつ、「公園施設長寿命化計画」に基づいた適切な整備・維持管理を行います。
- 地域住民による維持管理を推進するため、地域の清掃活動などに対して必要な物品の支給を行い、清掃活動が行いやすいよう支援を行います。

主な事業 ▶ 公園緑地維持管理事業 都市計画課

- 多目的ゾーンの整備を計画的に進めます。運動や憩いの場としてだけでなく、災害時にも利用できるオープンスペースとして整備します。

主な事業 ▶ 晴海公園整備事業 都市計画課

総合戦略 国土強靱化地域計画





3-7

暮らしを支える上下水道の整備

4年間で実現したい姿

適切な下水処理が行われ、衛生的な生活環境が維持できています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
汚水処理人口普及率	99.1%	99.3%

安全で良質な水道水が安定して供給されています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
有収率(有収水量に対する配水量の割合)【上水】	78.6%	86.8%

現状・課題

公共下水道の普及率は95%前後と高い一方で、布設管や処理場、ポンプ場施設の老朽化が進んでいます。

し尿前処理施設の老朽化が進んでいます。

老朽した水道施設・設備の更新が必要です。

取組の方針

- 生活環境の改善や公共用水域の水質を保全するため、公共下水道への接続率(水洗化率)の向上に取り組みます。
- 「大竹市公共下水道事業経営戦略」に基づき、下水道施設の効率的・計画的な整備を進めます。

主な事業	公共下水道事業	上下水道局
------	---------	-------

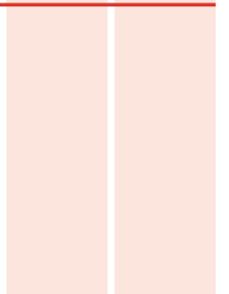
- 下水道施設と一体的に運営・管理できる、最も合理的で効率的な処理方式のし尿処理施設を整備します。

主な事業	次期し尿処理施設整備事業	環境整備課
------	--------------	-------

- 国、県、関係企業などと連携して水質を保全します。
- 水の安全性を周知するため、水質検査を適宜実施し、結果をホームページなどで公表します。
- 「大竹市水道事業経営戦略」に基づき、老朽化した施設の更新及び耐震化を行います。

主な事業	上水道事業	上下水道局
------	-------	-------

総合戦略 国土強靱化地域計画





3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり

4年間で実現したい姿

市民・事業者・関係団体・行政の協働による、4R(Refuse・Reduce・Reuse・Recycle)の取組により、ごみの減量化が進んでいます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
家庭ごみの排出量 (1人1日あたり)	587 g	522 g

市民・事業者・関係団体・行政がそれぞれの責務に応じた役割を担い、協働することで、環境にやさしい快適なまちづくりが進められています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
環境全般に関する苦情件数	12件	10件
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれい気持ちがいい」と答えた市民の割合	69.9%	75.0%

植樹・育樹・緑化活動や森林の計画的な整備により、生物多様性や森林が持つ公益的機能が守られ、山地災害の未然防止が図られています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積	196.67 ha	221.67 ha

現状・課題

家庭系ごみの減少が鈍化する一方、事業系ごみは増加傾向にあります。また、適正な分別やごみ出しルールが守られず、処理に支障をきたすケースが生じています。

市民の環境保全に対する意識は高まりつつありますが、市の大気汚染や水質汚濁などの改善状況は十分認識されていません。

市内一斉清掃活動や美化活動などに参加する市民・団体が増加しています。不法投棄・ごみのポイ捨ては減少傾向にありますが、未だにありません。

森林環境譲与税を用いた森林管理計画など幅広い事業展開が可能となる一方、実施に向けては専門知識を要する人材の確保や森林所有者の理解が必要です。

治山事業の実施は事業主体となる国や県が決定するため、要望どおりに事業が実施されるとは限りません。

取組の方針

総合戦略 国土強靱化地域計画

- ごみの適正な分別、ごみ出しルールの遵守への指導とリサイクル化の取組の周知・啓発を強化します。
- 生ごみの堆肥化や資源ごみのリサイクル化、食品ロスの削減などにより、ごみの減量化を進めます。

主な事業	ごみ減量化・資源化促進事業	環境整備課
------	---------------	-------

- 市の環境の現状や、事業所の環境保全の取組を積極的に周知し、正しい理解を促します。
- 「大竹市環境基本計画」に基づき、総合的・計画的な環境保全活動を進めます。

主な事業	環境学習事業 環境監視指導事業	環境整備課
------	--------------------	-------

- より多くの市民や環境美化関係団体が環境美化活動に積極的・継続的に参加できるよう、支援します。
- 市民・環境美化関係団体に「花いっぱい運動」への参加を促します。

主な事業	環境衛生・美化推進事業 (環境衛生推進事業)	環境整備課
------	---------------------------	-------

- 市民・関係団体・事業者・市の協働により、不法投棄の防止や早期発見、早期対応などに取り組みます。
- 公衆衛生推進協議会などの環境美化・公衆衛生活動に取り組む団体や自治会などを支援します。

主な事業	環境衛生・美化推進事業 (地域不法投棄対策事業)	環境整備課
------	-----------------------------	-------

- 森林や里山に関する情報発信やイベントの開催などを通じて、多くの人が山や森づくりに関心を持つよう働きかけます。
- 森林所有者に森林の公益的機能を十分に理解してもらい、森林を整備していきます。

主な事業	ひろしま森づくり事業 森林環境税関連森林整備事業	産業振興課
------	-----------------------------	-------

- 山地災害の未然防止のため、治山事業の実施を国や県に継続的に要望します。

主な事業	治山事業	産業振興課
------	------	-------



3-9

生活環境に配慮した墓地の管理

4年間で実現したい姿

周辺環境に配慮した、適切な市営墓地の管理が行われています。

KPI(重要業績評価指標)	現状値 (R1)	目標値 (R5)
管理が適切でない墓地区画数	0区画	0区画

現状・課題

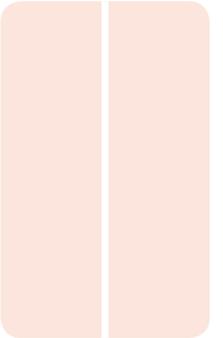
令和2(2020)年度に白石墓苑の造成が完了し、旧白石墓地使用者の墓石移転が進められています。墓苑によっては、立地などの問題から空き区画が生じています。また、使用者において適切な管理が行われていない区画が生じることもあります。

取組の方針

- 旧白石墓地からの白石墓苑への墓石移転完了後、空き区画を一般分譲します。
- 適切な管理が行われていない区画の使用者への指導などを含め、墓苑全体を適切に維持管理します。

主な事業 市営墓地維持管理事業 環境整備課

総合戦略 国土強靱化地域計画



● 「生活・環境」に関するSDGs指標の例

施策	SDGs指標の例		
施策3-1 快適で魅力的な都市空間の創造		人口自然増減・社会増減	
		市街化調整区域内人口割合	
施策3-3 生活を支える公共交通の充実		鉄道・電車・バスの利用割合	
		最寄りの交通機関までの距離が〇〇m以下となる普通世帯数	
施策3-5 住みよさと安心を生む住宅政策		最低居住面積水準以下世帯割合	
		空き家率(空き家数/総住宅数)	
		バリアフリー化されている65歳以上の世帯員のいる主世帯数の割合	
施策3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備		人口1人あたりの公園面積	
		可住地面積あたりの公園面積	
施策3-7 暮らしを支える上下水道の整備		上水道普及率	
		下水道処理人口普及率	
施策3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり		人口10万人あたりの公害苦情件数	
			世帯あたりの太陽光発電設置割合
			エネルギー消費量あたりの市内総生産
			人口1人あたりの電力エネルギー消費量
			1人1日あたりのごみ排出量(家庭部門)
			市内総生産あたりのCO ₂ 排出量
			
		人口1,000人あたりの悪臭による苦情件数	
			有害廃棄物割合
			ごみのリサイクル率
	公民館における環境保全活動の実施数		
	人口1人あたりのCO ₂ 排出量		
	森林面積割合(森林面積/総面積)		

上記は、自治体SDGs推進評価・調査検討会(事務局:内閣府地方創生推進事務局)の「自治体SDGs推進のためのローカル指標検討ワーキンググループ」が作成した「地方創生SDGsローカル指標リスト」の例です。ローカル指標とは、SDGsの「17の目標(ゴール)」と「169のターゲット(達成目標)」に対し、「全国的に公開され利用可能なデータに基づき、全国の自治体の取組を共通の尺度で評価できる指標の例」として作成されたものです。

第1期基本計画では、SDGsの目標の達成に貢献すると思われる施策について、これらの指標を活用して進捗を管理することとし、具体的な指標は実施計画で定めることとします。